

「高城プライド」 ～心と形を整える～

令和3年12月17日（金） NO27 文責 木下 文秋

トイレのスリッパが並ばない

1階の職員のトイレと1, 2年生が使うトイレは入り口が一緒になっています。職員男子トイレの対面に男子生徒用のトイレがあります。私はできるだけ生徒用を使用するようにしていますが、なかなかスリッパがきれいに並びません。まるで歩きながら脱ぎ捨てたように乱れているものや、並ぶどころかひっくり返っているスリッパもあります。と言いながらも、2時間目の休み時間には雑に並んでいたのに、3時間目に行ってみると整然と並んでいる時もあります。誰かが並べてくれたのでしょうか。それは、生徒だと期待したいものです。履くときは誰もが並んでいるスリッパを履くはずで、それなのに、出るときはどうして並べられないのかと不思議に思います。私が学生時代に入っていた体育寮では、トイレと玄関の掃除を1年生が担当していましたが、ある年の主将がとても人格者で、その年から4年生が掃除をするように変えました。それ以降、トイレのスリッパはいつも並び、便器もピカピカ。玄関にもゴミ一つ落ちなくなりました。何となく上からの圧力を感じますが、それはそれで正しい判断だったと思います。その年の4年生は強かったです。そういう所に結果が出るのだと思いました。先週の高城プライドで、「生徒がよくあいさつをしてくれるようになった」と書きましたが、生徒が読んでくれたのか、今週はもっとあいさつを返してくれる姿が増えました。もしかして、来週はトイレのスリッパがきちんと並んでくれるとうれしいなと思いながら書いてます。ちなみに木曜日の1時間目、左は男子トイレ、右は女子トイレの様子です。来週は並ぶようになるかなあ。たかがトイレのスリッパですが、学校の質が分かります。期待しましょう。

